起こらない 確率と 少なくとも

中2／解き方プリント 項目8／目標 15分

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

きまり① 起こらない 確率 ＝ 1 − 起こる 確率（起こる 確率と 起こらない 確率を 合わせると 1）

きまり② 「少なくとも 1つ」は、反対の「1つも ない」を 1から ひく。「ちょうど 1つ」とは ちがう

きまり③ 確率を たし算できるのは、同時に 起こらない 事柄だけ。重なる 事柄は、反対の 事柄を 使って 求める

れい 硬貨を 2枚 投げて、少なくとも 1枚は 表。反対は「2枚とも 裏」で 4通りの うち 1通り → $1-\frac{1}{4}=\frac{3}{4}$

◯ 反対の 事柄の 確率を 1から ひく　　× 確率を そのまま たし算する

・「起こらない確率・少なくとも」の 問題。くじ・玉・さいころ・硬貨は どの 結果も 同じ 程度に 起こる ものと する。
　大問1は、確率を 約分した 分数で 四角に 書く。
・大問2は、(1)は ア〜エの 記号、(2)は 反対の 事柄の 確率と 求める 確率を 四角に 書く。
・大問3は、「正しい」「まちがい」の どちらかを ○で かこみ、まちがいなら 正しい 答えを、正しい 答案なら「同じ」と 四角に 書く。

大問1 起こらない 確率

(1) シュートが 入る 確率は $\frac{3}{8}$。入らない 確率を 求める。　確率 ［　　］

(2) 大小 2つの さいころを 投げる。目の 和が 8に ならない 確率を 求める。　確率 ［　　］

大問2 少なくとも 1つ

(1) 10円玉・50円玉・100円玉を 同時に 投げる。3枚を 区別して 数える。

「少なくとも 1枚は 表が 出る」の 反対の 事柄を 選ぶ。 ［　　］

ア ちょうど 1枚が 表に なる　　イ 3枚とも 表が 出る

ウ 3枚とも 裏が 出る　　エ ちょうど 2枚が 表に なる

(2) 女子 2人と 男子 4人の 中から、くじで 代表を 2人 選ぶ。
少なくとも 1人は 女子が 選ばれる 確率を、反対の 事柄の 確率を 使って 求める。

反対の 事柄の 確率 ［　　］　求める 確率 ［　　］

大問3 答案を 調べて 直す

(1) さいころ2個を 投げる。少なくとも 一方は 5の 目が 出る 確率。さくらさん「5の 目が 出る 確率 $\frac{1}{6}$ を 2回 たした。答えは $\frac{1}{3}$」

正しい　まちがい　　答え ［　　］

(2) 硬貨4枚を 投げる。少なくとも 1枚は 裏が 出る 確率。さくらさん「反対の 事柄『4枚とも 表』の 確率 $\frac{1}{16}$ を 1から ひいた。答えは $\frac{15}{16}$」

正しい　まちがい　　答え ［　　］

見直し　□ 1から ひいた　□ 反対の 事柄を 取り違えて いない　□ たし算で 重なりを 2回 数えて いない　まちがい（　）問

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「確率」のプリント一覧がひらきます